



若者視点による岡山市観光地化と プロモーション活動の推進

「若者視点の岡山市観光地化」チーム



桃太郎のお伴（友）達
三田・下田・渡部・渡邊
（ノートルダム清心女子大学）

岡山市の良さを若者にもっと
知ってもらいたい！



1 活動の手続きと取り組み

岡山城・岡山市内の体験型観光資源を発掘し、取材する。それらの情報をInstagramに投稿し、アカウントの運営をおこなう。さらにフォロワーを増やすキャンペーンや観光プログラムを企画・実施する幅広い取り組みをおこなった。

主な取り組み

- ・ 烏城桃源郷・幻想庭園・桃太郎まつりなど岡山城・後樂園での開催イベントへの参加
- ・ 岡山城での体験（備前焼・キャンドル・風鈴作り体験、着付け）
- ・ ハッシュタグキャンペーンイベントの実施
- ・ 日本遺産おもてなしプログラム実践ワークショップへの参加とプログラムの実施
- ・ 岡山市ならではの観光体験(キリンビール工場見学、着物を着て後樂園・岡山城散策)
- ・ 岡山名産・お土産の取材（広栄堂武田様・大手饅頭様）
- ・ 市内・近隣県でのInstagramアカウントのPR活動

活動内容①イベントへの参加

鳥城桃源郷・幻想庭園・桃太郎まつりなど
岡山城・後樂園で開催されるイベントへの参加

目標 岡山城でのイベントの周知

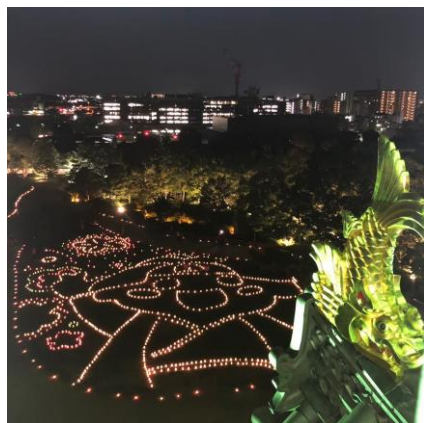
夏の鳥城灯源郷

秋の桃太郎まつり

8月9日 灯りのアート

8月2・3日 鳥城夏祭り

10月13日



活動内容②岡山城での体験

岡山城での体験（備前焼・キャンドル・風鈴作り体験、着付け）

目標 県内の人にも岡山城での楽しさを知ってもらう

備前焼



着付け体験



お城茶屋



キャンドル作り体験



活動内容③おもてなしプログラム

日本遺産おもてなしプログラム実践ワークショップでの企画・参加

目標 岡山観光資源の知識を得る
幅広い年代の方々との交流

10/20 鬼ノ城

11/2 土で遊ぼう

12/22 温羅のお面づくり

1/26 報告会



日本遺産おもてなしプログラム実践ワークショップ 参加者募集 無料

日本遺産「桃太郎伝説」のおもてなしプログラムをつくる体験型講座を開催。プログラムは冊子などにまとめて共同でPR。やりたいことにチャレンジ!

平成30年、桃太郎まつるの21の文化財で構成されるストーリーが日本遺産に認定されました。この桃太郎伝説のストーリーを題材に楽しく学べる方や、地元の方々に、その魅力を伝えたい、なりたい方を募集。地域の人が活躍できる型プログラムを共同で作ります。興味を生かしたい、おもてなし好き、地域を元気にしたい、芸術・歴史好き、桃太郎が気になる、園芸が好き、等々、どなたでもお気軽にご参加ください。

ワークショップ開催プログラム	プログラムづくり	プログラムの実践	実践後の振り返り
1. 文化財の価値の共有とプログラムづくりに関して知る。 日時：令和元年9月22日(土) 13:30～16:00 会場：岡山県動物福祉センター（岡山市北区豊日町5-0）	1. 6/22(土) 2019	2. 7/21(日) 2019	4. 1/26(日) 2020
2. 自分流のおもてなしプログラムを考えてみる。 日時：令和元年7月21日(日) 13:30～16:00 会場：岡山県動物福祉センター（岡山市北区豊日町5-0）	2. 7/21(日) 2019	3. 8/18(日) 2019	
3. 実践に向けて無理しない実行計画をつくる。 日時：令和元年7月18日(日) 13:30～16:00 会場：岡山県動物福祉センター（岡山市北区豊日町2-2-1）	3. 8/18(日) 2019		
4. おもてなしプログラム実施後の報告と今後。 日時：令和元年11月29日(日) 13:30～16:00 会場：報告会決定、決定次第開催会場をホームページでお知らせします			

主 催：日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまちおかやま」推進協議会（岡山市・倉敷市・総社市・赤磐市）
事業委託者：NPO法人みんなの集落研究所 〒700-822 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル3階

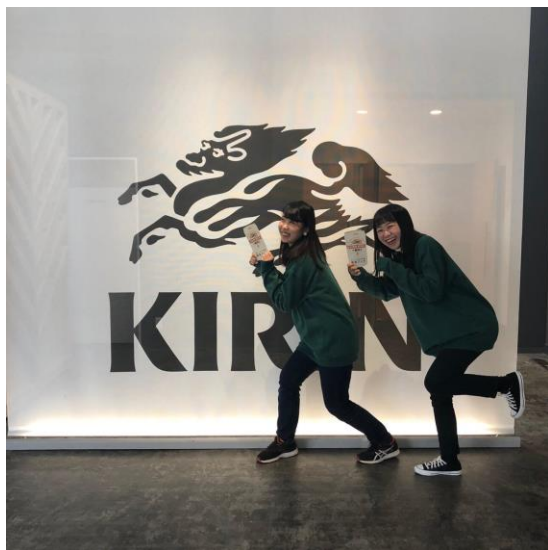


活動内容④岡山市内での魅力的な体験

岡山市内で可能な魅力的な体験

目標 新たな岡山の楽しみ方の提案

1/17 **キリンビール工場見学**



1/26 **着物で岡山城・後樂園散策**



活動内容⑤お土産・名産品

岡山のお土産・名産品の取材

目標 岡山を代表するお土産の紹介

12/11 大手饅頭

10/16 廣榮堂武田



活動内容⑥PR活動

ティッシュ配布

目標 フォロワーの増加・ハッシュタグの浸透性
ターゲットの拡大



1/24 岡山県大阪事業所

1/31 岡山駅・香川大学

2/8 姫路城周辺・三宮駅周辺

その他 岡山県内10大学ほか
観光に関する施設・関係者



活動内容⑦-1 ハッシュタグキャンペーン

① アカウントをフォロー

→ きびだんごをお渡し!

おともになってもらう作戦🍡

協賛：広栄堂武田様



② #岡山鬼スタグラム
#okayamaonisutagram

をつけて投稿

→ ノベルティグッズ

(岡山桃子プリン・扇子・桃太郎飴・
マグカップ) をプレゼント

協賛：おかやま観光コンベンション協会様



活動内容⑦-2 ハッシュタグキャンペーン

目標 フォロワーの増加・ハッシュタグの浸透性

11月15・16・17日に開催！



活動内容⑦-3 ハッシュタグキャンペーン

ハッシュタグキャンペーンイベントの実施

目標 フォロワーの増加、ハッシュタグの浸透性

- ・ **日時** 秋の幻想庭園・烏城桃源郷
→人が集まりやすいイベント開催中の金土日
- ・ **場所** 岡山城天守閣前
→岡山城への集客、分かりやすい場所であること
- ・ **内容・条件** WIN×WINの関係に
→きびだんご 広栄堂武田さんに交渉
→ノベルティ 岡山に関係あるものを思い出に♡
- ・ **イベントの認知** ポスター制作（日本語、英語）
- ・ **ポスター掲示依頼** 学内、周辺店舗、他大学、NPO法人、岡山天文博物館など
- ・ **アンケート調査の実施** 内容の考察・日本語・英語で2種類



活動内容⑦-4 ハッシュタグキャンペーン

① フォロワー数

186人



392人



② #岡山鬼スタグラム #okayamaonisutagram

投稿件数 100件越え



2 活動の遂行

- ・夏の後楽園イベント（8/1～）までにアカウントの構築
 - ・夏・秋のイベントにスタッフとして参加
 - ・岡山城に足を運び、体験したこと、グルメ、お土産を取材し、SNSを随時発信・更新
 - ・桃太郎、岡山城、備前焼など岡山の歴史再認識のための研究・まとめ・発信
- ↓
- ・後輩ゼミでのインスタアカウントの引継ぎ



「岡山観光インスタ発信」 きらりグループ

2020年2月13日（木曜日）
山陽新聞（朝刊26面）

私たちのこれまでの活動が
紹介されました！フォロアー
増加中！

きらりグループ

ノートルダム清心女子大（岡山市北区伊福町）の人間生活学部3年の4人が写真共有アプリ「インスタグラム」を活用し、若者ならではの視点で岡山の観光地を紹介している。

アカウント名は「岡山市のおともたち」。着物で岡山城を訪れたり、備前焼作りに挑戦したりした様子を撮影して投稿。昨年11月15～17日にはフォロワー数を増やすために「ハッシュタグキャンペーン」というイベントも開催した。具体的には、アカウントの

清心女子大生有志



岡山の観光地を紹介するインスタグラム

した。

4人は岡山の魅力や観光名所が十分知られていないと考え、昨年7月からインスタでの情報発信に取り組む。メンバー

フォロワーで岡山名物のきび団の下田菜七さん(21)は「インスタをプレゼントしたり、写真スタを見て岡山で何を楽しめるとともに「#岡山鬼スタグラ」るかを知ってもらい、実際に「ム」の投稿でオリジナルグッズを贈ったりしてフォロワーを増やすことに成功した。若い人たちに来てもらいたい」と話している。

（岡田みなみ）

岡山観光インスタ発信

3 まとめ①活動の成果と反省

①コンテンツの作成と情報発信

- ・実際に岡山に来たくなる、教えたくなる情報
- ・2つ以上の魅力を、理由を意識して情報収集&提供
- ・SNSという新しいツールの特徴を生かした学生ならではの発信のあり方

②イベント・プログラムの企画・実施

- ・フォロワーを増やすことの成功
- ・岡山城の観光客やプログラムに参加した人たちとの貴重な交流
- ・事前周知不足によるターゲット層のズレが生じた

③プロモーション効果

- ・フォロワーの増加低迷
- ・再訪や、ロコミ、共有に繋げる工夫
- ・自分たちで発信できるイベント開催の必要性

④地域との協働のあり方

- ・企業や行政の方と現実と理想とのギャップ、考えの違い
- ・社会貢献のあり方を身近に感じ、考える機会

⑤知識を実践に結びつける

- ・メディア戦略、マーケティング、広告論といった大学で学んだ知識を実践し、鍛える

3 まとめ②活動から得た学びと力

- 自分の役割をこなす主体性
- 活動の見通しを考える計画力
- 積極的に情報収集し、知り、考え、行動し、発信する力
- 目に見えて結果が出る達成感
- チームワーク 信頼と絆
- 確実なコミュニケーション 感謝の気持ち
- 限られた時間の中でのスケジュール管理

4 最後に（謝辞）

今回のプロジェクトでは協働先である岡山コンベンション協会様、産業観光局商工観光部様からの多大なご助力いただきました。さらに廣榮堂武田様はじめ、地元の企業や組織の多くの方々が私たちの活動を支えてくださいました。

自分たちが積極的に主体的に動くことで、地域の方々のご支援くださることが実感できた貴重な学びの機会となりました。本当に有難うございました。



おともたちが
増えました---!!!

